

広報

# かなだ

2003 12/1  
NO.484

かなだのまちをのぞく  
かなだのまちをのぞく



## CONTENTS

～特集～ 地域の足【へいちく】	2～7
人権週間	8～9
かなだ日記	10～11
みんなのひろば	12～15
くらしの情報	16～19



福岡県金田町

ホームページアドレス <http://www.town.kanada.fukuoka.jp>

## ～特集～ 地域の足『へいちく』

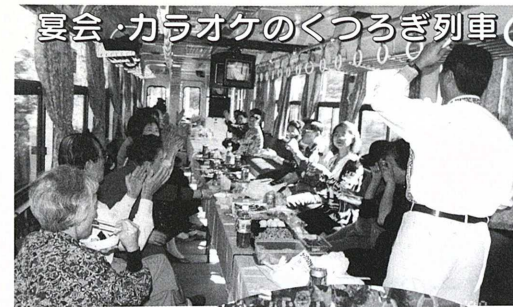
地域の足として『へいちく』の愛称で親しまれてきた『平成筑豊鉄道』。その『へいちく』が、今年で15年目を迎えました。今回は、これまでの『へいちく』を振り返り、これからの『へいちく』を考えてみましょう。

### 平成元年10月1日、みんなの熱意で『平成筑豊鉄道(へいちく)』はスタートしました。



明治時代から産業鉄道として、また、地域住民の足として親しまれていた伊田・糸田・田川三線は、石炭産業の衰退、利用者の減少などの理由で昭和62年2月赤字路線として選定されました。廃止してバスに転換するか、第3セクター方式(国や地方公共団体と民間事業者との共同出資で設立された法人)による鉄道として再生するのかの選択を迫られました。

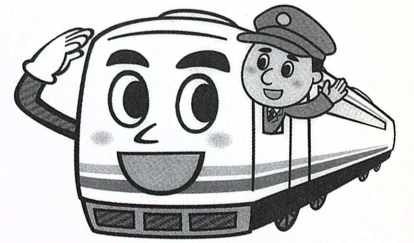
その時、鉄道を残したいという沿線住民の強い熱意により、福岡県を初めとする関係自治体や沿線企業の出資で、平成元年10月1日から第3セクター方式で鉄道として再出発しました。その名は『平成筑豊鉄道株式会社』です。



「地域のみんなに愛される『おらが鉄道』を目指し、いろいろなイベントを催しました。」

### 新たなアイデア

### 「へいちく」の歩み



- 明治26年 2月 直方～金田間9.8km開通
- 28年 8月 行橋～伊田間26.3km開通
- 30年10月 糸田～後藤寺間2.7km開通
- 32年 3月 金田～伊田間3.6km開通
- 昭和 4年 2月 金田～糸田間4.1km開通
- 62年 2月 伊田・糸田・田川線を第3次特定地方交通線として承認
- 平成 元年 2月 第5回特定地方交通線対策協議会会議が開催され、伊田・糸田・田川線を廃止し、第3セクターへ経営転換を決定
- 元年 4月 平成筑豊鉄道株式会社設立
- 元年10月 営業開始
- 2年 4月 新4駅開業(市場・人見・上金田・内田)
- 2年10月 新4駅開業(あかじ・大藪・今川河童・新豊津)
- 2年12月 新駅開業(藤棚)
- 3年 3月 田川線を特殊自動閉塞方式に変更
- 3年 9月 追加車両2両増備
- 3年10月 新駅開業(美夜古泉)
- 4年 4月 新駅開業(下伊田)
- 4年 9月 石炭輸送廃止
- 5年 1月 犀川町により犀川駅改築、竣工(ユータウン犀川)
- 5年 3月 新2駅開業(東犀川三四郎・柿下温泉口)
- 6年 2月 糸田線を特殊自動閉塞方式に変更
- 7年 4月 糸田町により糸田駅改築、竣工(グリーンドーム糸田)
- 7年 7月 新駅開業(源じいの森)
- 8年 4月 赤池町により赤池駅改築、竣工(童謡のまち赤池町)
- 9年 3月 新2駅開業(ふれあい生力・松山)
- 10年10月 開業以来初めての運賃改定
- 11年 3月 新駅開業(田川市立病院)
- 11年 7月 1日フリー切符発売
- 13年 3月 新2駅開業(南直方御殿口・上伊田)
- 15年 3月 金田駅改築、竣工
- 15年 3月 新駅開業(赤)
- 15年 7月 金券回数券の導入
- 15年 7月 まくら木オーナー制の導入
- 15年 9月 名誉駅長制の設置
- 15年10月 へいちくフェスタ

### 快走『へいちく』 第3セクターの優等生

『へいちく』は、過疎地域というハンデを背負いながらも、あの手この手の積極的な経営努力と、「何事も自分たちでできることはやろう」を合言葉にした徹底的な経費節減と、セメント貨物の輸送収入により、平成元年度から平成8年度まで8年連続黒字という好調なスタートをきりました。



### ダイヤの大幅増便

朝夕のラッシュを中心に運行本数を大幅に増やしました。

運行本数の比較(一日あたり)	
JR(昭和64年)	74本
へいちく(平成8年)	199本

### 増える駅

新駅をどんどん開業し、地域の足として、とても便利になりました。

駅数の比較	
JR(昭和64年)	15駅
へいちく(平成8年)	31駅

